

施策番号	0801		
施策名	多様で活力ある中小・ベンチャー企業の育成と発展支援		
概要	中小企業の経営の安定、向上を図り、地域の経済力を高めるため、中小企業への金融支援を行うとともに、産業支援機関等による経営支援や技術・研究開発支援、人材育成など、企業ニーズに即した支援事業を推進する。		
担当局・部室	産業観光局・新産業振興室	共管局・部室	
上位政策	8 産業・商業		
施策に関する主な分野別計画等	京都市新価値創造ビジョン，京都市産業戦略ビジョン		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		平成 29年度	平成 30年度	令和元年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	企業課題対応済み件数(件)	a	b	124	160	164	97.6%	a	1.00
2	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	b	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		平成 29年度	平成 30年度	令和元年度回答					
				そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう 思わない	そう思わ ない	有効回答 者数
1	京都では、さまざまな企業や産業の活動が互いに刺激し合って発展している。	b	b	65	251	207	73	37	633
				10.3%	39.7%	32.7%	11.5%	5.8%	
2	-	-	-						
3	-	-	-						
4	-	-	-						
5	-	-	-						
		b	b	市民生活実感調査総合評価					b

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

A	施策の目的が十分に達成されている					平成 30 年度	B
	重み付け	☒ 客観指標	a	☐ 市民の実感	b		
(重み付けの理由) 当該施策においては、企業ニーズに即した支援が重要であるため、企業課題の解決状況に係る客観指標を重視する。						平成 29 年度	A
(原因分析) 客観指標総合評価 ☒ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。							
(原因分析) 市民生活実感調査総合評価 ☒ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		令和元年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		平成30年度 決算額	令和元年度 予算額		
1	京都経済センターオープンイノベーションの推進	0	25,946	—	産業観光局
2	染色整理業者に対する上下水道料金の減免	25,181	26,954	—	産業観光局
3	中小企業金融支援事業	34,664,327	31,119,407	良い	産業観光局
4	中小企業活性化支援事業	7,136	7,151	良い	産業観光局
5	京北商工会事業助成	5,096	5,096	良い	産業観光局
6	中小企業経営支援事業	96,443	96,531	良い	産業観光局
7	地域経済活性化支援事業	1,296	1,296	かなり良い	産業観光局
8	地域企業応援プロジェクト(中小企業対策)	0	38,585	—	産業観光局
9	C S R (企業の社会的責任)の推進支援	2,521	2,446	普通	産業観光局
10	京の企業働き方改革総実践プロジェクト	23,091	21,791	普通	産業観光局
11	異業種交流等連携支援事業	2,846	2,595	良い	産業観光局
12	地域プラットフォーム事業	15,639	14,601	かなり良い	産業観光局
13	未来創造型企業支援プロジェクト	19,269	19,513	良い	産業観光局
14	中小企業パワーアッププロジェクト	27,492	28,333	良い	産業観光局
15	中小企業海外展開支援事業	15,943	21,490	良い	産業観光局
16	京都クリエイティブビジネス海外展開助成制度	4,390	0	良い	産業観光局
17	京都市未来創生企業成長プロジェクト	14,261	0	良い	産業観光局
18	ものづくり(ハードウェア)ベンチャー戦略拠点事業	15,127	15,729	かなり良い	産業観光局
19	IoTビジネス推進事業	7,019	7,060	普通	産業観光局
20	ベンチャー型事業承継支援	0	9,636	—	産業観光局

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・未来の京都を担う有望な中小・ベンチャー企業等の発掘から育成までの一貫したハンズオン(企業と伴走し、課題解決に向けた様々な支援を実施すること)による支援策等を展開する。
 ・新たなイノベーションを生み出す中小・ベンチャー企業の新事業創出を促進するため、ビジネスプランのブラッシュアップ(磨き上げ)や資金調達、魅力ある新商品・新サービス等の販路開拓支援等、金融、経営、技術・研究開発、事業化、海外展開など総合的な支援策を展開する。

施策名	0801	多様で活力ある中小・ベンチャー企業の育成と発展支援				
指標名	企業課題対応済み件数（件）					
担当課	新産業振興室		連絡先	2 2 2 - 3 3 2 4		
1 指標の説明						
経営者の課題解決を図る中小企業パワーアッププロジェクトにおいて、経営課題を発掘し、継続的なフォローを行うパワーアップコーディネータが訪問し、企業の課題に対して対応した件数						
2 指標の意味						
支援企業（訪問企業）の課題解決に向けた取組状況を示す指標						
3 算出方法・出典等						
出典：事業担当課調べ						
4 数値						
	前回数値 平成29年度	最新数値 平成30年度	推移	目標値		
				数値	根拠	達成度
数値	124	160	36件増	164	平成27～29年度の実績件数の平均	97.6%
	全国順位	中長期目標				備考 平成27年：193件 平成28年：174件 平成29年：124件
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値						
5 評価基準						
最新数値の目標値に対する達成度が a：80%以上 b：60%以上～80%未満 c：40%以上～60%未満 d：20%以上～40%未満 e：20%未満						
6 基準説明						
当該指標については、経済状況によって課題発生数が増減するなど、外的要因によるところが比較的高いことから、80%以上をa、以下20%刻みで基準を設定した。						
7 評価結果						
平成29	平成30	令和元				
a	b	a				